

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 観光ホスピタリティ推進事業補助金
-------------------	-------------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	2	心と体を癒す観光のまちづくり
主要な施策	2	暖かいもてなしの心の醸成
事務事業番号	001	事務事業コード 31122001 事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	観光ホスピタリティ推進事業補助金
------	------	------------	------------------

部 名	観光経済部	グループ名	観光室 観光振興 G
-----	-------	-------	------------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc;">(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> 登別市観光ホスピタリティ推進協議会
手 段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> 登別市観光ホスピタリティ推進協議会が実施する、観光客受入のための事業を補助金を交付して支援する。 平成 2 1 年度 実績 ・自然観察事業(地獄谷散策会「ふるさと再発見地獄谷散策会」 ほか) ・観光ボランティアガイド支援事業 (支援事業・養成講座) ・受入整備事業(フラワーファンタジーロード維持管理事業・桜ロマンマイロード事業)
目 指 す 姿 (成果)	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> 登別に訪れる観光客等を温かく迎える、ホスピタリティ精神の啓発を促進し観光振興を図り、市内経済の活性化を図る。
根 拠 法 令 等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	観光ボランティアガイド養成講座修了者数	人	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	6				
	観光ボランティアガイド会活動日数	日	目標値	165	165	165	165	165
			実績値	171				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	900	900	900	900	900	2,700
合 計				900	900	900	900	900	2,700
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	431	1,356			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		431	1,356			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？ 全市的なホスピタリティ精神の普及を図り、訪 れる観光客等を温かく迎え、ホスピタリティの 啓発を促進し、観光振興を図る事業であり、市 が補助することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？ 訪れる観光客等を温かく迎え、ホスピタリティ の啓発を促進し、観光客から好評である。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？ 今後も継続して行うことにより、さらなるホス ピタリティ精神の普及を図ることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？ 全市的なホスピタリティ精神の普及を図り、訪 れる観光客等を温かく迎え、ホスピタリティの 啓発を促進するため、これ以上のコスト削減は 難しい。

担当グループによる評価

維 持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	全市的なホスピタリティ精神の普及を図り、訪れる観光客等を温かく迎え、ホスピタリティの啓発を促進し観光振興を図る。
-----	----------------------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）